

(参考) グループ活動費¹の考え方

以下1のように、東京支部においては、収入を増加させ、支出を減少させることが急務であると考えられます。しかしながら、以下2の通り、仮に支出を10%減少させる努力をしても、現状規模の活動においては、会費1,000円では収支バランスを向上させることが困難と見込まれます。

そこで、以下3の通り、会費収入を増加させる必要があると考えています。以下の3では、未だ赤字ですが、金額が小さいため、会費未納分の徴収による増収、例会等参加費の導入検討などにより、収支バランスを向上させることが可能であると考えられます。

会員の皆様には負担増となりますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

1. 2015/2016 予算 (2015/2016 総会で承認) における収支バランス

収入：188,500円 支出：263,000円 (※繰越金・予備費は除く)

収入－支出＝▲74,500円

2. 2016/2017 の収支の見通し (1) *会費1000円

*収入：会員数が維持された場合 & 会費1,000円を維持した場合

収入	金額	内訳
助成金 (支部還元金に代わるもの)	30,000円	(予定)
グループ活動費 (支部費に相当)	115,000円	1,000円×115名
出版物販売	16,000円	
合計	161,000円	

*支出：2015/2016 予算から、節減努力により10%削減した場合

支出	金額	内訳
合計	236,700円	263,000円×0.9

収入－支出＝▲75,700円

3. 2016/2017 の収支の見通し (2) *会費1500円

*収入：会員数が維持された場合 & 会費を1,500円とした場合

収入	金額	内訳
助成金 (支部還元金に代わるもの)	30,000円	(予定)
グループ活動費 (支部費に相当)	172,500円	1,500円×115名
出版物販売	16,000円	
合計	218,500円	

*支出：2015/2016 予算から、節減努力により10%削減した場合

支出	金額	内訳
合計	236,700円	263,000円×0.9

収入－支出＝▲18,200円

¹ 2015/2016 までの支部費に該当するもの